

令和6年度 6月補正予算の概要



茨木市

令和6年度6月補正予算総括表

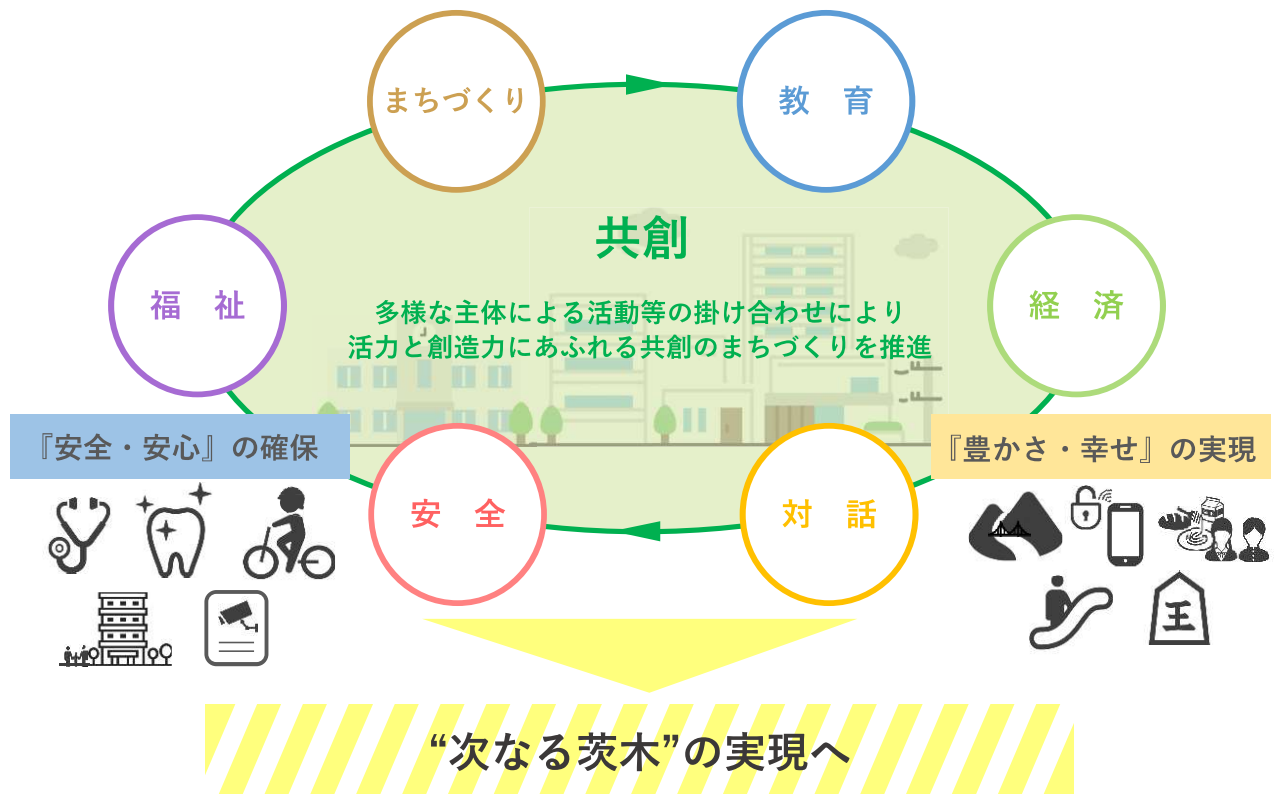
(単位：千円・％)

区 分	当初予算額	補 正 額	6 月 補 正 後 予 算 額	前年度予算額	比 較	
					増 減 額	増 減 率
一 般 会 計	107,400,000	1,365,225	108,765,225	111,200,000	△2,434,775	△2.2
特 別 会 計	60,359,455	10,196	60,369,651	59,951,045	418,606	0.7
財 産 区 会 計	5,409,513	—	5,409,513	4,926,863	482,650	9.8
国民健康保険事業会計	26,111,869	10,196	26,122,065	27,408,588	△1,286,523	△4.7
後期高齢者医療事業会計	5,440,536	—	5,440,536	4,841,385	599,151	12.4
介護保険事業会計	23,397,537	—	23,397,537	22,774,209	623,328	2.7
下 水 道 等 事 業 会 計	11,361,529	—	11,361,529	10,507,279	854,250	8.1
水 道 事 業 会 計	9,490,514	—	9,490,514	9,662,580	△172,066	△1.8
総 計	188,611,498	1,375,421	189,986,919	191,320,904	△1,333,985	△0.7

令和6年度 6月補正予算の概要

1 基本方針

誰もが「安全・安心」「豊かさ・幸せ」を実感できる“次なる茨木”をさらに形にするため、まちに関わる多様な主体による活動・価値観が共感でつながる、共創のまちづくりを推進する予算を編成

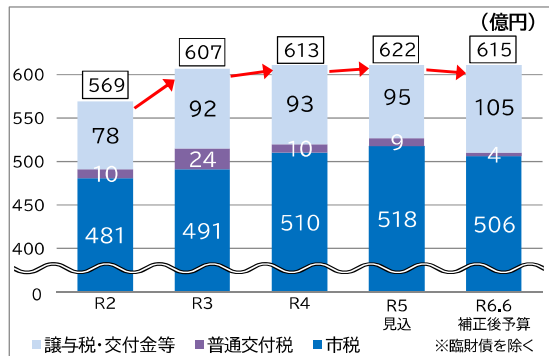


2 主な内容

1 まちづくり	みんながいきる 人と自然が共生する持続可能なまちに	安威川ダム周辺整備事業 J R茨木駅西口エスカレーター設置に向けた設計 広告物除却・改修への補助	1億6,932万円 4,000万円 2,012万円
2 教育	らしさをいかす 次代の茨木を担う人を育むまちに	小学校における電子黒板の導入 中学校全員給食の実施及び中学校給食費の無償化 地域子育て支援拠点事業の拡充・充実	2億9,917万円 1億2,663万円 1,317万円
3 福祉	いのちを守る ともに支え合い・健やかに暮らせるまちに	胃内視鏡検診の実施〔一般+国保〕 障害者（児）歯科診療の実施・検討に向けた環境整備 がん患者アピアランスケア助成制度の創設	2,549万円 1,309万円 300万円
4 経済	活気あふれる 都市活力があふれる心豊かで快適なまちに	「おにクル」くる！クル！大作戦の実施 おにクル開館1周年記念 将棋タイトル戦（竜王戦）の開催 オープンカンパニーの実施	600万円 3,041万円 646万円
5 安全	いざ、に備える ともに備え命と暮らしを守るまちに	防犯カメラ告知板の設置 個別避難計画策定の推進 分譲マンションへの耐震プロデューサーの派遣	173万円 190万円 364万円
6 対話	議論を重ねる 対話重視で公平公正な市政運営	コミュニティセンターへのスマートロックの設置等 行政事務へのテキスト生成A Iの導入 外国人総合相談窓口の開設	974万円 225万円 259万円

※各図のR5見込は3月補正時点の見込数値

1 税等一般財源の推移



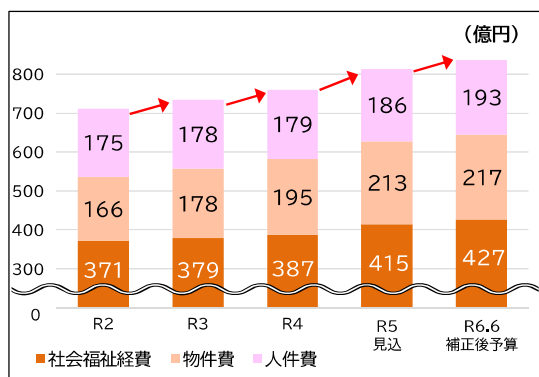
市税収入は、新築家屋等の増により固定資産税の増収を見込む一方で、定額減税により個人市民税の減を見込むため約12億円の減収を見込む。

なお、譲与税・交付金等では、定額減税の補てんに伴う特例交付金の増等により10億円の増収を見込む。

また、普通交付税は、国の追加措置があった令和5年度と比較し減額を見込む。

市税や交付税、譲与税・交付金等をあわせた税等一般財源の総額は、前年度から減額となる615億円を見込む。

2 社会福祉経費等の推移



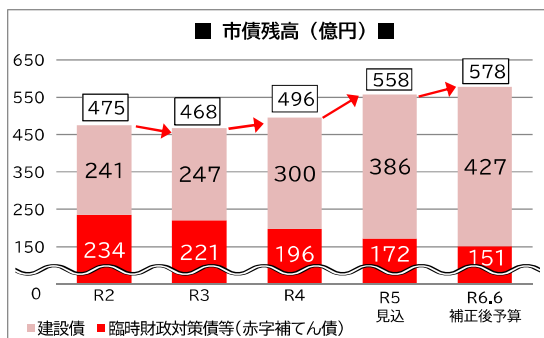
社会福祉経費は、継続して増加する障害や保育に係る給付費に加え、高齢化の進展による介護保険事業会計への繰出金や後期高齢者に係る負担金が増加するため、12億円の増額を見込む。

また、物件費は、システムの標準化に係る経費をはじめ、近年の物価上昇の影響のほか、まちの持続的発展を支える様々な取組みの実施等により、4億円の増額を見込む。

人件費についても、会計年度任用職員の処遇改善に係る制度改正の影響等により前年度から7億円の増額を見込む。

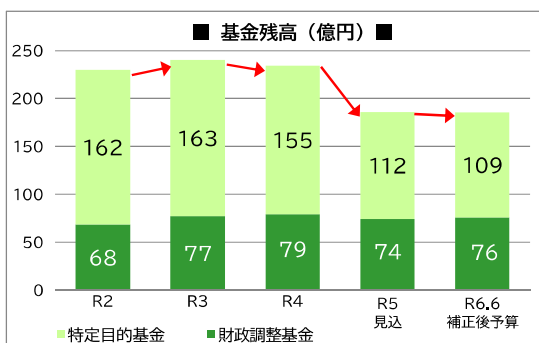
※ 社会福祉経費：扶助費、国保・介護・後期高齢繰出金、後期高齢者療養給付費負担金の合計

3 市債（借金）残高と基金残高の推移



市債（借金）は、これまでから抑制に努めている臨時財政対策債は減額する一方で、おにクル建設等への活用を図っている建設債については、令和6年度についても、ダムパークいばきたや中学校給食センターの整備等への活用により、市債残高は前年度から増額を見込む。

※ 赤字補てん債：交付税制度における地方の一般財源の財源不足分を補うために発行する市債（臨時財政対策債等）



物価高騰対策等への活用を図っている財政調整基金は、決算剰余金の積立により増額を見込む一方で、令和4年度・5年度において、おにクル建設等に活用した特定目的基金については、令和6年度についても、公共施設の再編等への活用により減額を見込む。

※ 財政調整基金：災害や急激な財源不足に備え、法令で設置を義務付けられている基金。市の貯金にあたる

※ 特定目的基金：ごみ処理施設や駅前の整備、公共施設の管理など、それぞれの目的に沿って設置している基金

歳入の根幹となる税等一般財源の動向が不透明な中、歳出面では、社会福祉経費をはじめとする経常経費に加え、政策事業の展開により経常化する経費が増加しているため、将来にわたって市民サービスの充実を図るにあたり、まちの持続的発展を支える「財政の健全性の確保」に向け、さらなるビルド&スクラップの取組を進めてまいります。

4 予算総額と歳入歳出の内容〔一般会計〕

1 予算総額

当初予算額	6月補正予算額	6月補正後予算額
1,074.0億円	13.7億円	1,087.7億円

[対前年度24.3億円減（2.2%減） 令和5年度当初予算 1,112.0億円]

2 主な歳入の状況

項 目	R6 当初予算	R6.6月 補正予算	R6.6月 補正後予算	R5 当初予算	R6.6月補正後 -R5当初	主 な 増 減 内 容 (R6.6月補正後/R5当初)
市 税	503.6億円	2.5億円	506.1億円	512.0億円	△5.9億円	前年当初予算比 1.1%減【定額減税に伴う減】 個人市民税 △12.1億円 法人市民税 △2.8億円 固定資産税 7.8億円 都市計画税 1.2億円
譲与税・ 交付金	103.1億円		103.1億円	87.5億円	15.6億円	地方特例交付金 12.9億円 法人事業税交付金 1.2億円 地方消費税交付金 0.6億円
地方交付税	5.8億円		5.8億円	5.2億円	0.6億円	普通交付税 0.6億円
国庫支出金	227.5億円	0.9億円	228.4億円	207.7億円	20.7億円	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 16.5億円 児童手当等負担金 7.0億円 学校施設環境改善交付金 6.2億円 都市構造再編集中支援事業補助金 △5.9億円
府支出金	88.0億円	0.1億円	88.1億円	88.5億円	△0.4億円	地域医療介護総合確保基金事業費補助金 △2.0億円 子ども・子育て支援交付金 △1.0億円 重層的支援体制整備事業交付金 2.0億円 障害者介護給付費等負担金 1.1億円
財産収入	1.1億円	4.7億円	5.8億円	1.1億円	4.7億円	不動産売却収入 4.7億円
寄附金	1.5億円	0.1億円	1.6億円	1.7億円	△0.1億円	ふるさと寄附金 △0.3億円
繰入金	7.8億円	0.1億円	7.9億円	46.7億円	△38.8億円	文化施設建設基金繰入金 △38.8億円 衛生処理施設整備等基金繰入金 △2.0億円 公共施設等総合管理基金繰入金 2.0億円
諸収入	51.6億円	0.2億円	51.8億円	47.0億円	4.8億円	デジタル基盤改革支援補助金 4.8億円 ごみ処理施設改修事業負担金 △1.7億円 ダム事業区域内整備負担金 △1.0億円
市債	60.6億円	5.1億円	65.7億円	91.5億円	△25.8億円	
赤字補てん債	1.0億円		1.0億円	1.4億円	△0.4億円	臨時財政対策債
建設債	59.6億円	5.1億円	64.7億円	90.1億円	△25.4億円	

3 主な歳出の状況

項 目	R6 当初予算	R6.6月 補正予算	R6.6月 補正後予算	R5 当初予算	R6.6月補正後 -R5当初	主 な 増 減 内 容 (R6.6月補正後/R5当初)
人件費	193.2億円	0.0億円	193.2億円	182.1億円	11.1億円	給料・職員手当等 4.6億円 会計年度任用職員手当 4.6億円
物件費	210.3億円	6.5億円	216.8億円	204.2億円	12.6億円	おにクル指定管理料 3.3億円 小学校電子黒板購入費 3.0億円 地域包括支援センター運営委託等 2.8億円 税統合システム標準化等業務委託 2.1億円 新型コロナウイルスワクチン接種等委託料 △7.2億円
扶助費	327.1億円	0.0億円	327.1億円	313.0億円	14.1億円	児童手当 6.1億円 介護給付費・訓練等給付費 4.2億円 施設型給付費負担金 1.5億円 障害児通所給付費 1.4億円
補助費等	96.6億円	1.0億円	97.6億円	82.6億円	15.0億円	低所得者支援及び定額減税調整給付金 14.9億円 後期高齢者療養給付費等負担金 1.0億円 新型コロナワクチン接種負担金 △1.4億円
投資的経費	102.3億円	6.2億円	108.5億円	181.8億円	△73.3億円	市民会館跡地エリア活用事業 △73.5億円 環境衛生センター営繕事業 △7.0億円 安威川ダム周辺整備事業 △5.2億円 中学校給食センター整備事業 19.1億円
繰出金	83.6億円		83.6億円	82.1億円	1.5億円	後期高齢者医療特別会計 1.0億円 介護保険特別会計 0.4億円 下水道等事業会計 0.4億円 国民健康保険特別会計 △0.3億円
公債費	49.6億円		49.6億円	55.0億円	△5.4億円	元金 △6.3億円 利子 0.9億円

※四捨五入により0.1億円に満たない項目については「0.0億円」表示しています。

令和6年度一般会計補正予算(第1号)総括表

(歳入)

(単位：千円)

款	予 算 額	左 の 内 訳		主 な 内 訳
		特 定 財 源	一 般 財 源	
1 市 税	248,061		248,061	個人市民税 248,061
15 国 庫 支 出 金	84,978	84,978		デジタル田園都市国家構想交付金 66,229 こども政策推進事業費補助金 4,850 重層的支援体制整備事業交付金 4,388
16 府 支 出 金	5,974	5,974		重層的支援体制整備事業交付金 4,388 子ども・子育て支援交付金 946 万博地域連携イベント開催支援事業補助金 500
17 財 産 収 入	470,000		470,000	不動産売却収入
18 寄 附 金	9,623	9,623		文化振興事業寄附金 4,774 交通安全対策事業寄附金 2,849 読書環境等充実寄附金 1,000
19 繰 入 金	14,590	14,590		緑化基金繰入金 12,590 森林環境譲与税基金繰入金 2,000
21 諸 収 入	21,699	21,699		中学校給食費 16,873 住民健診国保被保険者負担分精算金 4,276 各種冊子等頒布収入 550
22 市 債	510,300	510,300		ダム周辺整備債 151,400 小学校施設整備債 146,200 道路新設改良債 90,000
補 正 額 A	1,365,225	647,164	718,061	
補正前の予算額 B	107,400,000	44,026,420	63,373,580	
補正後の予算額 A + B	108,765,225	44,673,584	64,091,641	

令和6年度一般会計補正予算(第1号)総括表

(歳 出)

(単位：千円)

款	予 算 額	消 費 的 経 費				投 資 的 経 費	そ の 他 の 経 費
		人 件 費	物 件 費	扶 助 費	補 助 費 等		
2 総 務 費	125,296	135	56,304		40,670	28,187	
3 民 生 費	31,370	1,868	6,577		22,925		
4 衛 生 費	44,253	1,856	37,012		5,385		
6 農 林 水 産 業 費	3,000		2,000		1,000		
7 商 工 費	10,455		9,205		1,250		
8 土 木 費	419,821	90	28,041		32,173	359,517	
10 教 育 費	731,030		501,304	1,801	520	227,405	
補 正 額 A	1,365,225	3,949	640,443	1,801	103,923	615,109	
補正前の予算額 B	107,400,000	19,318,182	21,033,348	32,705,025	9,660,730	10,230,182	14,452,533
補正後の予算額 A + B	108,765,225	19,322,131	21,673,791	32,706,826	9,764,653	10,845,291	14,452,533

令和6年度6月補正予算の主な内容

事業費の（ ）内は一般財源
☆新規ソフト事業

1 まちづくり | みんながいきる 人と自然が共生する持続可能なまちに

中心市街地・まちづくり

① ひと中心のまちなか戦略の推進 【市街地新生課】 737万円（737万円）

ひとが中心のまちなかを実現するため、まちなか戦略の今後の方針として、施策展開に向けた具体的な手法や多様な主体と方向性を共有する取組等を検討する。

☆ ② 広告物除却・改修への補助 【都市政策課】 2,011.1万円（2,011.1万円）

市条例への早期適合と広告景観の質の向上を促進するため、屋外広告物の除却・改修に対する助成制度を創設する。

<対 象> ①市域全域：既存不適格となる広告物
②東西軸（景観重要道路）：すべての広告物
<補 助 率> 1／2（上限①50万円、②100万円）
<補助期間> 令和6年7月～令和8年12月

駅周辺整備

③ JR茨木駅西口エスカレーター設置に向けた設計 【市街地新生課】 4,000万円（400万円）

駅利用者の利便性向上を図るため、JR茨木駅西口におけるエスカレーター設置に向けた設計委託を行う。

<繰越明許費> 4,000万円
【財源：市債 3,600万円】

北部地域のプロジェクト

④ 安威川ダム周辺整備事業 【北部整備推進課】 1億6,931.7万円（1,691.7万円）

ダムパークいばきたの吊り橋エリアのオープンに向け、引き続き駐車場整備等を進める。

<繰越明許費> 9,985.7万円
【財源：寄附金 100万円、市債 1億5,140万円】

公共交通・交通安全

⑤ 山間部における交通手段の確保に向けた検討等 【交通政策課】 428.6万円（428.6万円）

山間部における移動困難者の対応等を検討するため、対象地区において交通手段の確保に向けた勉強会等を行う。

- ⑥ 自転車乗車用ヘルメットの着用支援の拡充 380.2万円 (95.3万円)
【交通政策課】
自転車乗車用ヘルメットの着用を促進するため、ヘルメットの購入補助の対象を拡充する。
【予算総額：475.3万円】
＜対 象＞65歳以上の市民 → 全年齢
＜補助額＞上限3千円（1人につき1回限り）
＜申 請＞令和6年8月～令和7年2月に電子申請で受付
【財源：寄附金 284.9万円】

街路樹・公園

- ⑦ 街路樹再整備方針の策定に向けた取組 【建設管理課】 138.6万円 (2.7万円)
景観形成や安全確保を図り、街路樹の適正な維持管理・更新等の方向性を定めるため、再整備方針の策定に向けて地域の意向確認や基準作成等を行う。
＜債務負担行為＞期間：令和7年度、限度額：6,322千円
【財源：基金 135.9万円】
- ⑧ 公園のバリアフリー化の推進 【公園緑地課】 2,400万円 (240万円)
誰もが利用しやすい公園づくりを推進するため、公園施設やトイレのバリアフリー化に向けた設計委託を行う（西河原公園（南）、元茨木川緑地、沢良宜公園）。
＜繰越明許費＞700万円
【財源：市債 2,160万円】

環境

- ☆ ⑨ 脱炭素プラットフォームの構築 【環境政策課】 253.8万円 (253.8万円)
脱炭素プラットフォームを構築し、事業者間の連携創出を図るため、脱炭素の取組促進に向けたセミナー等を開催する。
- ☆ ⑩ デコ活アクションの促進 【環境政策課】 110万円 (110万円)
ゼロカーボンシティの実現を図るため、脱炭素につながる活動を促すデコ活アクション促進の一環として、再生可能エネルギーによる電力を導入した世帯に対し、奨励金を支給する。
＜対象者＞再生可能エネルギー100%由来の電力を導入した世帯
＜補助額＞2万円/世帯

2 教育 | らしさをいかす 次代の茨木を担う人を育むまちに

保育環境の充実

- ① 保育士等確保支援策の拡充 【保育幼稚園総務課】 227.4万円 (227.4万円)
保育士等の人材の確保を図るため、市内保育所等に就労する保育士等を対象とした奨学金の返済を支援する補助金の補助期間等を拡充する。【予算総額：1,748.4万円】
＜拡充内容＞①補助期間を3年から10年に延長（上限額72万円→240万円）
②補助申請期間を令和7年度までから令和11年度までに延長
③令和6年4月1日以降に採用され就労している常勤の看護師を対象に追加

子育て・妊産婦支援

② 地域子育て支援拠点の増設 【子育て支援課】 1,316.4万円 (438.8万円)

より身近な環境で子育て支援のさらなる充実を図るため、地域子育て支援の拠点となる「つどいの広場」を増設(20か所→23か所)する。【予算総額 1億8,496.5万円】
【財源：国 438.8万円、府 438.8万円】

☆ ③ 産後ケア事業における通所型サービスの実施等 【子育て支援課】 327.9万円 (164万円)

安心して子育てができる支援体制を充実するため、産後における母子への心身ケアや育児のサポート等を行う通所型サービスを新たに実施するとともに、宿泊型サービスも含め対象年齢を拡充する。【予算総額：1,867.2万円】
＜対 象＞生後4か月 → 1歳未満
【財源：国 163.9万円】

④ 助産師による両親教室の拡充 【子育て支援課】 28.1万円 (14.1万円)

妊娠期から産後における妊産婦等支援の充実を図るため、沐浴体験等を行う助産師による両親教室の開催回数を拡充する。【予算総額：69.3万円】
＜開 催＞現行：月1回午前(24組/日) → 拡充：月1回午前・午後(48組/日)
【財源：府 14万円】

子育て家庭への訪問支援

☆ ⑤ ヤングケアラー家庭への訪問支援の実施 【こども政策課】 141.9万円 (47.3万円)

過度なケアを担っているこどもとその家庭を支援するため、炊事・洗濯等の家事や保育所への送迎等の訪問支援を行う。
【財源：国 47.3万円、府 47.3万円】

☆ ⑥ 支援を必要とする子育て家庭への訪問支援の実施 【子育て支援課】 141.9万円 (47.3万円)

子育て等に対して不安を抱えた家庭や妊婦を支援するため、炊事、洗濯等の家事や保育所への送迎等の訪問支援を行う。
【財源：国 47.3万円、府 47.3万円】

教育環境の充実

☆ ⑦ 小学校における電子黒板の導入 2億9,916.8万円 (2億3,916.8万円) 《13頁参照》 【教育センター】

タブレット端末と連動した授業の推進や学習場面に応じたICTの活用により授業の質の向上を図るため、小学校に大型提示装置(電子黒板)を導入する。
【財源：国 6,000万円】

☆ ⑧ 非認知能力の向上に向けた体験活動の充実 36.8万円 (36.8万円) 【学校教育推進課】

体験活動を充実し、非認知能力の向上等を図るため、対話型鑑賞による京都芸術大学とのモデル事業を全校展開する取組を行うとともに、感情を音で表現し体験的に学ぶJAZZを取り入れた授業を実施する。

学校給食の推進

- ☆ ⑨ 中学校全員給食の実施及び中学校給食費の無償化 【学務課】 1億2,662.9万円（1億975.6万円）
中学校全員給食を令和7年1月から実施するとともに、子育て世帯における経済的負担を軽減するため、中学校給食費を無償化する。
【財源：諸 1,687.3万円】
- ☆ ⑩ 中学校給食食物アレルギー対応に係る補助 【学務課】 15.2万円（15.2万円）
アレルギー対応により弁当を持参している中学生の保護者に対して、給食費に係る実費相当額の補助を行う。
＜対 象＞アレルギー対応により年間を通して弁当を持参する生徒の保護者

スポーツ環境の推進

- ⑪ 東市民体育館アリーナへの空調設備の設置に向けた設計 【スポーツ推進課】 1,797.7万円（457.7万円）
快適なスポーツ環境の整備や指定避難所としての環境改善を図るため、東市民体育館アリーナへの空調設備設置に向けた設計委託を行う。
＜繰越明許費＞1797.7万円
【財源：市債 1,340万円】

図書館

- ☆ ⑫ 読書バリアフリーの推進 【中央図書館】 323万円（223万円）
誰もが読書に親しめる環境を整備するため、中央図書館1階閲覧室に読書バリアフリーコーナーを設置するとともに、多言語絵本等を配架する。
【財源：寄附金 100万円】

3

福祉

いのちを守る

ともに支え合い・健やかに暮らせるまちに

地域医療

- ☆ ① がん患者アピアランスケア助成制度の創設 【健康づくり課】 300万円（300万円）
がん患者の治療と社会参加の両立等を図るため、ウィッグ等の補整具を購入する費用の一部を助成する。
＜対 象＞①ウィッグ、②乳房補整具
＜助 成 額＞①上限2万円、②上限左右各2万円
＜助成回数＞①1回、②左右各1回

健康づくり

- ☆ ② 胃内視鏡検診の実施 【一般+国保】 【健康づくり課】 2,548.8万円（1,378.2万円）
胃がんの早期発見・早期治療を図るため、個別医療機関での胃内視鏡による胃がん検診を実施する。
【財源：国 151万円、府 1,019.6万円】

産業振興・観光

- ☆ ① オープンカンパニーの実施 【商工労政課】 645.5万円（645.5万円）
 市内企業の認知度向上や事業者間の交流・連携を図るため、ものづくり企業等の見学やプロモーション活動、事業者交流等を実施する。
- ☆ ② 魅力資源の現状分析及びプロモーション等の実施 【商工労政課】 275万円（275万円）
 本市への誘客及び周遊の促進を図るため、魅力資源の整理や来訪者のニーズ分析によるプロモーション等を行う。

農業振興

- ☆ ③ 地域農家への農業機械購入費の補助 【農林課】 100万円（100万円）
 農業の担い手を確保し育成するため、農地の貸借を目指す地域農家に対して、新たに農業機械を購入する経費の補助を行う。
 <対 象> 耕運機、草刈機、トラクター等の農業機械（中古品を含む）
 <対 象 者> 市が認定する地域農家（候補者を含む）
 <補 助 率> 1／2（上限10万円）

共創のまちづくり

- ☆ ④ 茨木版共創のデザインに向けた検討 【共創推進課】 573.4万円（573.4万円）
 市の特性を活かした共創施策を推進するため、民間事業者や学生等の共創パートナーとの企画の実施等により、「茨木版共創」の方向性等を整理・検討する。
- ☆ ⑤ 「おにクル」くる！クル！大作戦の実施 【共創推進課】 600万円（600万円）
 《14・15頁参照》
 おにクルへの来館機会を創出するため、「おにクル」くる！クル！大作戦として、文化芸術や建築、子育てなど幅広い分野でのイベント等を実施する。
- ☆ ⑥ おにクル開館1周年記念イベントの実施 【共創推進課】 1,580万円（1,580万円）
 《14・15頁参照》
 「共創の中心地」としてのおにクルのさらなる周知や利用促進を図るため、開館1周年記念イベントを実施する。

文化振興

- ☆ ⑦ おにクル開館1周年記念 文化振興イベントの実施 【共創推進課、文化振興課】 1,375.6万円（1,375.6万円）
 《14・15頁参照》
 おにクルへの来館を促進するとともに文化に係る多様な鑑賞機会の充実等を図るため、おにクル開館1周年にあわせて文化振興イベントを実施する。

- ☆ ⑧ おにクル開館1周年記念 将棋タイトル戦(竜王戦)の開催 《14・15頁参照》 【文化振興課】 3,040.6万円(2,563.2万円)
おにクルの1周年を記念するとともに将棋文化の振興を図るため、将棋タイトル戦(竜王戦)や大盤解説等の関連イベントを開催する。
【財源：寄附金 477.4万円】

- ☆ ⑨ 文化芸術活動の活性化に向けた市民会議の再編等 【文化振興課】 421.9万円(421.9万円)
さらなる文化振興を図るため、市民会議を再編し、文化芸術活動の企画立案等を行う共創の会議「つどい、つながる文化の会議」を開催するとともに、専門部会を設置し、取組の評価等を行う。

5 安全

いざ、に備える

ともに備え命と暮らしを守るために

防犯・防災・耐震

- ☆ ① 防犯カメラ告知板の設置 【危機管理課】 172.2万円(172.2万円)
さらなる防犯意識の向上を図るため、防犯カメラの設置を周知し犯罪抑止力を高める告知板を設置する。
- ② 個別避難計画策定の推進 【地域福祉課】 189.3万円(189.3万円)
災害時における要支援者の円滑な避難行動につなげるため、連絡先や避難経路等を記載した個別避難計画を策定する。
- ③ 分譲マンションへの耐震プロデューサーの派遣 【居住政策課】 363.2万円(181.7万円)
分譲マンションの耐震化を促進し安全・安心な住環境を確保するため、耐震プロデューサーの派遣対象に旧耐震基準で建築された分譲マンションを追加する。【予算総額:653.8万円】
【財源：国 181.5万円】

6 対話

議論を重んじる

対話重視で公平公正な市政運営

DXの推進

- ① コミュニティセンターへのスマートロックの設置等 【地域コミュニティ課】 973.2万円(501.3万円)
利用者の利便性の向上を図るため、玉櫛及び畑田のコミュニティセンターにWi-fiを設置するとともに、Wi-Fi型スマートロックを設置する。
【財源：国 471.9万円】

外国人

- ☆ ② 外国人総合相談窓口の開設 【人権・男女共生課】 258.5万円(104.5万円)
外国人住民の日常生活を支援するため、暮らしや文化、行政手続き等に関する総合相談窓口を設置する。
＜開設日時＞月～金曜日 9時～17時※月1回、日曜窓口を開設
＜場 所＞市役所本館2階(人権・男女共生課)
【財源：国 154万円】

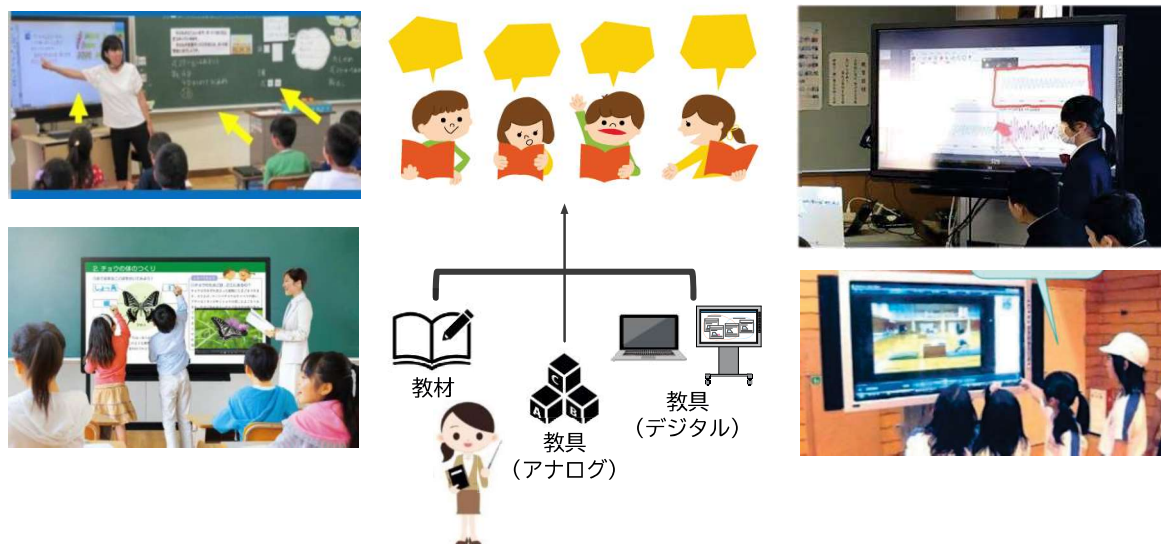
小学校における電子黒板の導入について

児童生徒の意欲を向上させる学習環境づくりや、教員による授業づくりの効率化等を図るため、市立小学校全 32 校に電子黒板を導入します。

電子黒板を導入することで、大きな画面を活用した授業により、一人ひとりの顔を確認しながら、理解度を向上させるインタラクティブ（双方向）な授業内容等が可能となるほか、学習場面に応じた GIGA 端末との使い分けや併用によって、様々な授業スタイルを実践し、児童生徒の学びをさらに深めます。

《主な予算 事業用器具費：2 億 9,916 万 8 千円》

<活用イメージ>



<概要>

1 設置場所

茨木市立小学校全 32 校、教育センター内ふれあいルーム

2 設置教室（予定）

普通教室・支援教室 等

<整備スケジュール（予定）>

令和6年度									
4～6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
				小学校 搬入設置			小学校 運用開始		



おにクルによるまちづくりの推進

令和5年11月26日開館のおにクルは、まもなく来館者数100万人を突破。新たなまちのシンボルであり、共創の中心地、実験場でもあるおにクルで、豊かさ・幸せを実感できる取組を推進します。

おにクルならではのユニークな企画 《600万円》

※企画は検討段階のものであり変更・中止となる場合があります。詳細は決まり次第、市ホームページ等でお知らせします。

おにクルファミリーキャンプ

おにクルの休館日に、館内にキャンプサイトを設け、全館を使ったわくわくドキドキのお泊りキャンプを開催

おにクルこども建築塾

世界的な建築家・伊東豊雄さんが設計を手掛けたおにクルで、建築家を招いて小学生を対象に「いえ」や「まち」をテーマにした講座を開講

ワンダー・ウォールをつくろう

おにクル2階のわくくる壁面の映像作品「ワンダー・ウォール」を制作した山城大督さんと一緒に映像技術を活用したワークショップを実施

その他

幅広い年代の皆さまにおにクルにお越しいただき、愛着を持って過ごしていただくため、ユニークで魅力的な企画を実施

日々の暮らしを彩る



おにクルの周年を記念した催し

※詳細は決まり次第、市ホームページ等でお知らせします。



周年記念イベント 〈11月10日(日)〉

《1,580万円》

おにクルの開館1周年を記念して、来場者の皆さまに『育てる広場』おにクルを改めて実感していただくとともに、新たな出会いや興味を生むきっかけとなるような企画を実施します。

- おにクル内外の各機能間の連携による企画
- 市民・市民団体の皆さま主体のプログラム
- プロフェッショナルによる公演
- おにクルの歩みを振り返るアーカイブ企画

共創による文化振興の取組

《1,375万6千円 ※のど自慢関連イベントの事業費を含む》

文化芸術と触れる、感じる、つながる「場」おにクルとして、本市にゆかりのある方々による音楽コンサートやワークショップなどを開催し、共創による文化の新たな価値の創造・発信に向けた展開を図ります。

開館記念イベント（令和5年11月26日）の館内風景

NHKのど自慢 公開収録



令和6年9月8日、ゴウダホールでの本市通算3回目となるNHKのど自慢の公開収録の開催にあわせ、市では関連イベントを実施します。

※公開収録の出場者・観覧者募集については、開催2か月前までに広報誌等でお知らせします。



○関連イベント

※詳細検討中のため変更となる場合があります。

- ・おこさま☆のど自慢（就学前児対象ののど自慢）
- ・ざんねん！のど自慢（きたしんホールでの市独自企画）
- ・のど自慢パブリックビューイング
- ・いばらき自慢ブース設置

その他、のど自慢関連企画をおにクル館内で実施予定。



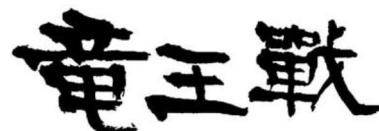
NHKのど自慢のステージ ゴウダホール

日本全国が注目



第37期 竜王戦 [第4局]

《3,040万6千円 ※関連イベントの事業費を含む》



令和6年11月15日・16日、おにクル7階にある和室を舞台に、将棋界最高位のタイトル戦と言われる竜王戦七番勝負の第4局を開催。関係団体等と連携した関連企画も実施します。

日程〈11月14日(木)〉写真撮影会・検分・前夜祭

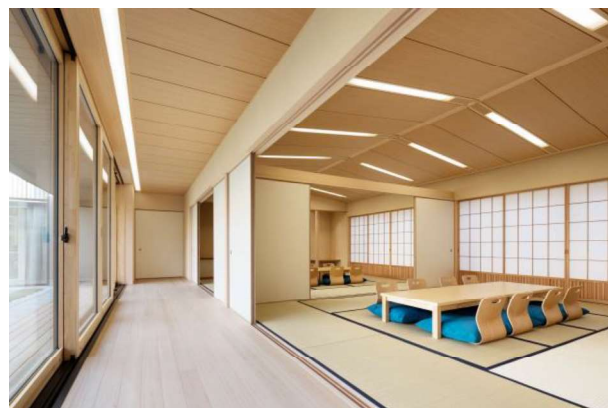
〈11月15日(金)〉対局1日目

〈11月16日(土)〉対局2日目・大盤解説

○関連イベント

※詳細検討中のため変更となる場合があります。

- ・茨木フェスティバルでのブース出展
- ・いばらき勝負めしコンテスト
- ・将棋スタンプラリー
- ・こども向け将棋企画
- ・将棋に関するワークショップ など



対局会場となる7階和室

《竜王戦に関するお知らせ》

竜王戦の開催に伴い、おにクルの臨時休館を予定しています。
前夜祭・大盤解説の参加募集を含む詳細については、確定次第、市ホームページ等でお知らせします。